



ここみちゃん

有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業一覧(平成19年度)



めぐるくん

ごみ減量化普及啓発, 上流対策

ごみ減量アドバイザーの配置(新規)

各まち美化事務所にごみ減量アドバイザーを配置し、コミュニティ回収や使用済みてんぷら油の回収等の地域における環境施策の普及・啓発を推進します。また、地域での活動を通して、ごみ減量やまちの美化等に関する相談支援業務を行います。

リターナブルびん等の拠点回収(継続)

リターナブルびん(ビールびん等の繰り返し使えるびん)の利用促進とリユース(再使用)を図るため、市民が身近に持参できる場所に回収ボックスを設置し、リターナブルびんの拠点回収を行います。

不用品リサイクル情報案内システム運用(継続)

不用となった家具等の再利用を促進するため、老朽化した現システムを更新し、システムの充実を図ります。

小・中学生の環境体験学習プログラム(新規)

小学校の総合学習の時間にごみの発生抑制、再使用、再利用を取り上げ、ごみ減量、分別体験として、幼少時からの環境意識の高揚を図ります。また、環境絵画コンクールを実施し、小・中学生の環境教育の充実を図ります。

ごみ減量先進的取組支援(新規)

ごみ減量を目的とした取組の本格的な事業化・実用化に向けた調査・研究を支援します。

ごみ減量推進会議運営(継続)

ごみの発生抑制や商品の再利用の推進等に取り組むごみ減量推進会議の活動を支援します。

ごみ減量普及啓発等(継続)

ごみ減量化対策事業やごみ減量化に関する情報を、印刷物やインターネット等で市民への周知を図ります。また、リサイクルを普及させるため、身近な資源回収拠点づくりのモデル実験を行います。

総合環境情報誌「京(みやこ)のごみ減量事典」(継続)

ごみ減量・リサイクルをはじめとする環境情報を掲載した「京(みやこ)のごみ減量事典」の追記版を作成し、配布します。

「京のごみ戦略21」進捗状況等把握調査(継続)

計画の進捗状況を定期的にチェック・評価し、積極的に公表していきます。

有料化1年シンポジウム(仮称)の開催(新規)

有料指定袋制の開始から1年間の取組経過、ごみ減量効果の説明や財源活用事業によるごみ減量の実例紹介、パネルディスカッション等を実施します。

ごみ減量・リサイクル推進

プラスチック製容器包装の再資源化(継続)

資源の有効利用と地球環境負荷の軽減を図るため、平成19年10月からプラスチック製容器包装の分別収集を全世帯で実施します。

電動式生ごみ処理機等購入助成(継続)

家庭ごみの約4割(重量比)を占める生ごみの減量化を促進するため、電動式生ごみ処理機及び生ごみコンポスト容器の購入助成を行います。

蛍光管拠点回収(継続)

市民のリサイクル機会の拡大及び蛍光管の適正回収・処理を図るため、蛍光管の拠点回収を充実します。

スプレー缶分別収集(新規)

市民のリサイクル機会の拡大及びスプレー缶の適正回収・処理を図るため、平成19年10月からスプレー缶の定点回収を実施します。

コミュニティ回収制度(継続)

コミュニティ回収活動の経費の助成等の支援を行います。

各区環境パートナーシップ事業(新規)

市民団体等が区役所と協働して実施するごみ減量やまちの美化、脱温暖化効果を期待できる取組に対して助成を行います。

缶・びん・ペットボトルのリサイクルの推進(継続)

缶・びん・ペットボトルの資源ごみをリサイクルセンターで選別・再資源化処理しています。

地球温暖化対策

使用済みてんぷら油回収制度(継続)

家庭から排出される使用済みてんぷら油回収制度について、新たに回収活動に係る経費を助成するなど制度の充実を図り、更なる拠点拡大を目指します。

バイオマス利活用推進プロジェクト(新規)

家庭や地域から発生するバイオマス資源(生ごみや剪定枝等)を対象に、効率的なバイオガスの発生を可能とするためのモデル実証実験等を行います。

まちの美化推進

不法投棄ごみ対策(新規)

不法投棄の監視体制を強化するため、監視カメラ貸出制度を創設します。

まちの美化活動やごみの散乱防止への支援(継続)

公共的な場所における自主的な清掃活動に対して、清掃用具の配布や貸し出しを行っています。また、カラス等によるごみの散乱防止のため、防鳥用ネットの貸し出しを行っています。